

『食品ロス』について 知っていますか？

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。日本では、本来食べられるのに捨てられてしまう食品＝食品ロスが、年間約523万トン発生しています(令和3年度)。これは国民1人当たり、毎日おにぎり1こ分を捨てている計算です。一方で、日本は多くの食料を海外から輸入しています。この機会に「食品ロス」について考えてみましょう。

クイズで『食品ロス』を知ろう！

Q1. 「食品ロス」とはどんなことをいうのでしょうか？

- ① 食べものがたりないこと
- ② 食べものが捨てられてしまうこと
- ③ 食べものを作りすぎること



“ろすのん”食品ロス削減国民運動キャラクター

Q2. 日本では一年間にどのくらいの量の食べものが捨てられているでしょう？

- ① 約5万トン ② 約50万トン ③ 約500万トン

Q3. 世界中で捨てられている食べものの量はどのくらいでしょう？

- ① 作られている量の5%くらい ② 作られている量の25%くらい
- ③ 作られている量の35%くらい

Q4. 給食で「食品ロス」を減らすためにできることは何でしょう？

- ① きらいなものを残す ② 食べきれないときは少なめにする
- ③ 食器をわざと汚して洗いにくくする

Q5. 未来の地球のために「食品ロス」を減らすとどんなよいことがあるでしょう？

- ① ゴミが減って環境にやさしい ② 水やエネルギーのむだが減る
- ③ みんなが幸せになる

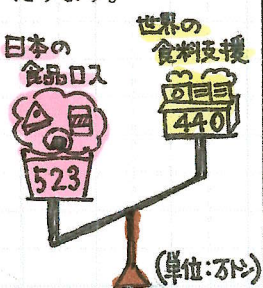
Q1の答え②

本当はまだ食べられるのに、さまざまな理由で捨てられてしまう食べものを「食品ロス」といいます。



Q2の答え③

日本では毎年約523万トンの食品が捨てられています。これは世界中の人々への食料支援量の1.2倍にあたります。



Q3の答え③

世界では、作られた食べものの約1/3 (35%) が捨てられています。



Q4の答え②

「食べきれる量」を自分で選ぶことが、ムダを減らす第一歩です。



Q5の答え 全て

「食品ロス」を自分のこととしてとらえ、みんなで削減に向けた取り組みをしていきましょう。

